

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)  
■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

## 1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	学校法人 恵愛学園 認定こども園 愛泉こども園 新築工事 中央区 上所3丁目343-12, 343-19 第1種住居地域、準防火地域 学校, 2017年3月 予定 5,291.87 m <sup>2</sup> 1,858.39 m <sup>2</sup> 2,929.35 m <sup>2</sup> 地上2F S造 実施設計段階評価 2016年7月29日	
---	--	--

## 2. CASBEE新潟の評価結果

<p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{54.2}{35.3} = 1.5$
---	---	--

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.0		バリアフリー	3.0
			維持管理	3.0
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.1		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物の熱負荷抑制	4.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.7		節水	4.0
			リサイクル材の使用	5.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.0		生物環境の保全・創出	3.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.5		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	4.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

自動水栓、泡沫水栓などに加えて、節水型便器を採用している。  
非構造部材にリサイクル材を使用している。

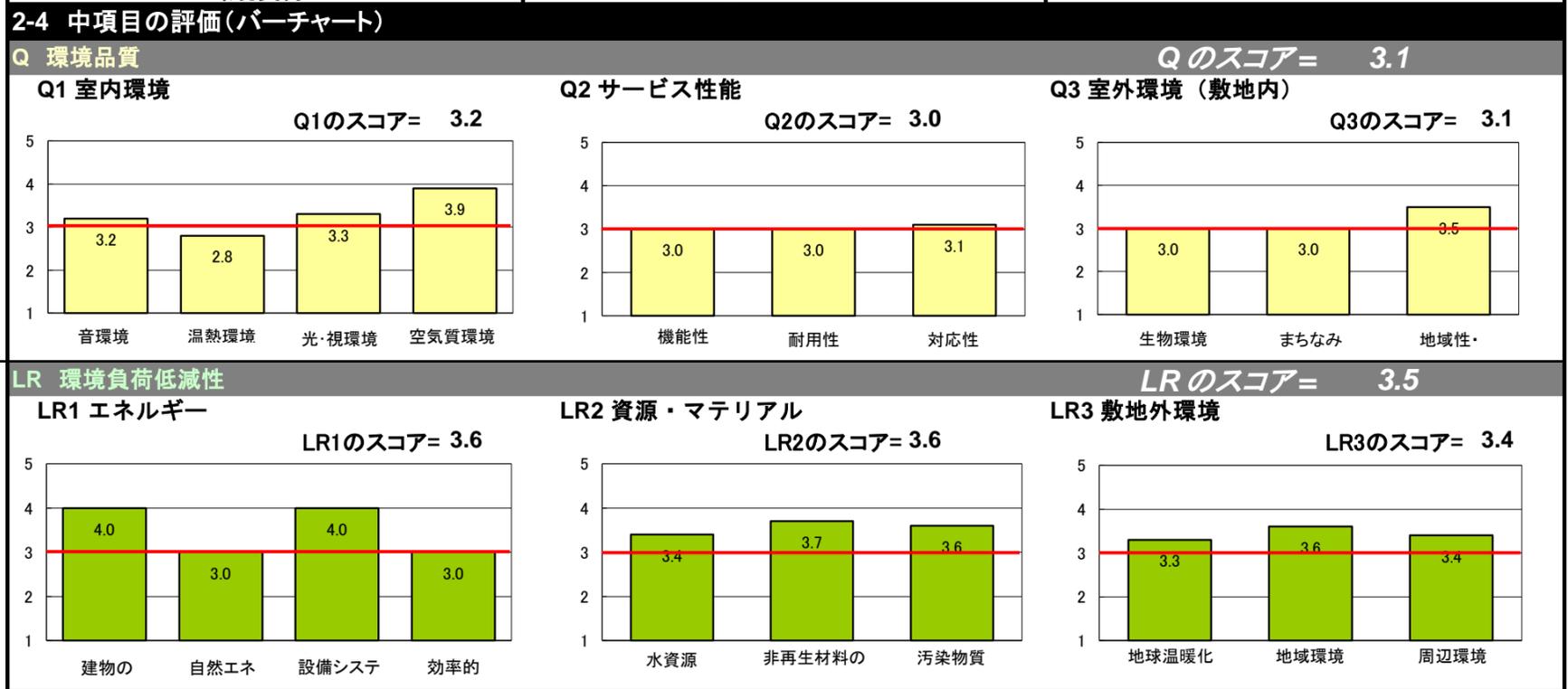
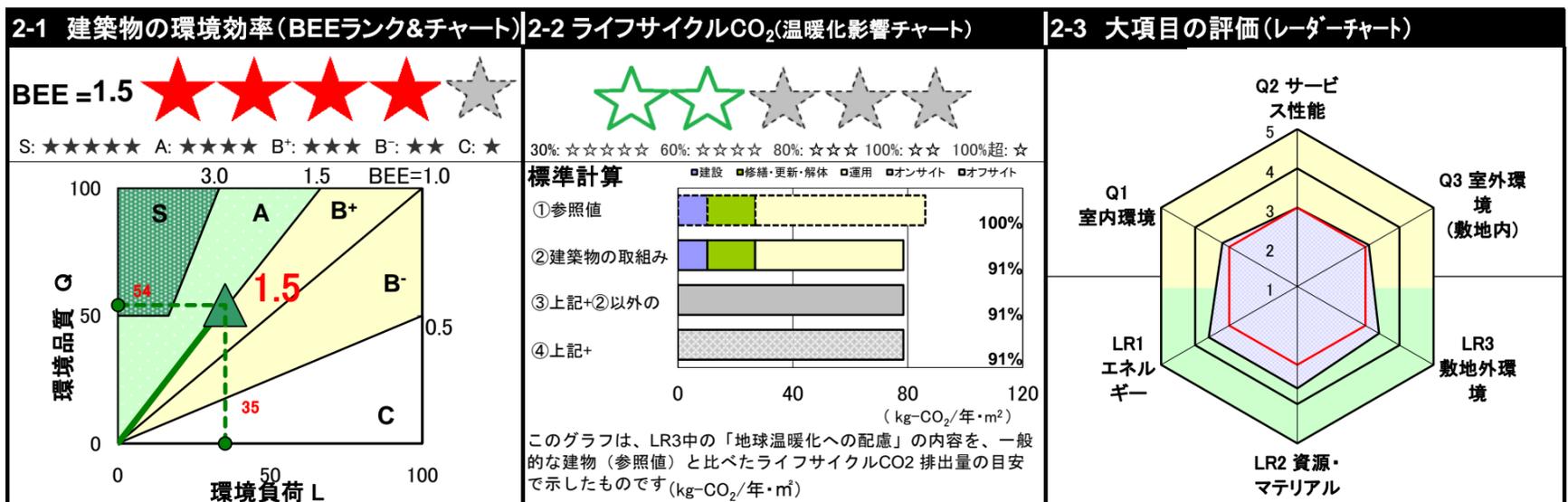
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

# CASBEE<sup>®</sup>新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

## 評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	学校法人 恵愛学園 認定こども園 愛泉こども園 新築工事	階数	地上2F
建設地	新潟県新潟市中央区	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	396 人
気候区分	地域区分V	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年7月29日
敷地面積	5,292 m <sup>2</sup>	作成者	(株)S.U.建築設計
建築面積	1,858 m <sup>2</sup>	確認日	2016年7月29日
延床面積	2,929 m <sup>2</sup>	確認者	(株)S.U.建築設計



3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>周辺を住宅に囲まれ、近くには高層マンションや新幹線の高架線がある都市的な環境の中で、敷地全体を樹木や野草を植栽していき、豊かな自然が子どもたちを包み込むような計画としています。園舎は、その豊かな自然と調和の取れた外観とし、形成された風景が地域の風景に潤いを与えることを期待しています。建物は、熱負荷を軽減できるように、外壁・屋根の主要な部分を外断熱とし、サッシは全て複層ガラスとしています。</p>		<p><b>その他</b></p> <p>また、ガラス面積の大きい遊戯室のカーテンウォールはLow-eガラスを採用しています。南面に設けたバルコニーは日射を調整する役割を果たしています。照明は全てLEDとし、エネルギーの効率的な利用に努めています。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>断熱材の強化により外皮性能を上げ、温熱環境に配慮しています。昼光率を高めに設定するなど、光・視環境に配慮しています。F☆☆☆☆建材を全面的に採用、全館禁煙とするなど、空気質環境にも十分配慮しています。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせています。情報通信設備については通信設備の多様化、また、補修必要間隔の長い配管材を採用するなど、建物の耐用性・信頼性に配慮しています。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>施設の一部を子育て支援室として地域に開放、また、樹木により視線を遮ることがなく防犯性に配慮しています。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>複層ガラス、Low-eガラスの採用や、断熱材を強化することにより建物の熱負荷を抑制しています。LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮しています。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>自動水栓などに加えて、節水型便器などの省水型機器を用い、水資源を保護しています。ノンフロン断熱材を採用するなど、汚染物質含有材料の使用を回避しています。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率を91%とし、地球温暖化への配慮をしています。広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮しています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される